

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 I III IV V 】 |
| 2 実施対象者 | 白岩小学校 全校生（1，3～6年） 36名 |
| 3 展開の形式 | <p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（体育・社会・図画工作・総合的な学習の時間・生活科）</p> <p>② 行事名（学習発表会「白岩フェスティバル」）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p> |
| 4 目標 （ねらい） | <p>○ オリンピックやパラリンピックについて学び、その意義や精神、参加する選手や運営する人々の努力について理解する。</p> <p>○ フェアプレーやチャレンジの精神、自己実現といったスポーツの価値を知り、スポーツや健康管理に対する関心・意欲を高める。</p> <p>○ 他の国や障がいがある方々と交流をもつことで、多様性を尊重する視点を持ち、他者への共感や思いやりの心情を育てる。</p> |
| 5 取組内容 | <p>「わたしたちのオリンピック・パラリンピック in Tokyo」 ～やってみよう つながろう～</p> <p>実践1〈生活科(1年)・社会科・総合的な学習(3～6年)〉 「ホスト国 オランダのみなさんにオリンピック・パラリンピックを見に来てもらおう。」</p> <p>【調べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安積疎水におけるファン・ドールンの功績 ・姉妹都市（オランダ王国ブルメン市について） ・オランダの様子について（国土・生活・スポーツ） <p>【話をきく】「おしえて ヨーストさん！（白岩フェスティバル）」 郡山市国際交流員 ヨースト クラルト 氏</p> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市との結びつき ・オランダの国土 ・人々の生活や文化 ・学校生活 ・スポーツ スケート 自転車 </div>  |

【つながる】

- 「ホストタウン交流事業」 〈協力：郡山市国際政策課〉
 - ・ブルメン市内小学校との交流(1月～3月)
 - オリンピック・パラリンピックポスター制作・送付
 - ビデオレターメッセージの交換
 - 学校ホームページでの情報発信



○「家庭・地域とつながる」

- ・オリパラ教育の取組みを家庭と地域に発信

白岩フェスティバルの機会を生かす
学校だよりやホームページで情報発信
学校の玄関ホールにオリパラコーナーを設置



◎ 学校が起点となり、
ホストタウンとしての
気運の醸成を図る

実践2く体育科・児童会活動（全学年）

「パラリンピックってなに？」～ボッチャを体験しよう～

【調べる】

- 「パラリンピックスポーツ「ボッチャ」について調べよう」
 - ・パラリンピックとは
 - ・ボッチャの簡単なルール
 - ・教材「I'm possible」

【体験する】I'm possible「ボッチャをやってみよう！」（全学年）



日本ボッチャ協会
強化指導部長
村上 光輝 氏

4m×4mのミニコートでの体験

- わかりやすい簡単なルール
- 投げ方は自由（練習の必要はない）
- だれでもすぐに楽しめる

【見る・きく】

○「お話をきく」

- ・パラリンピックについて
- ・ボッチャのよさ
- ・日本代表チームについて
…高まるメダルの期待

○「パラリンピックの映像を見る」

- ・12.5m先のボールにぴたりと
寄せる技に児童から大きな歓声！



【つながる】

保健体育委員会主催わんぱく班対抗「ボッチャ大会」



○ 活動の継続性

「I'm possible」

「できる」喜び

※ミニコートの常設

○ 「平等」に競い

合い、楽しむ工夫や態度

○ 学年・性別をこえた良さの認め合い

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>6 主な成果</p> | <p>○ボッチャの体験を通して、ルール工夫で平等に競い合うことができたというパラリンピック競技の素晴らしさに触れることができた。</p> <p>○日々精進し技能を磨いている選手やそれを支えている人々の努力や思いを感じとる機会となった。</p> <p>○ホストタウンとの交流活動を通して、外国の国土や文化、生活習慣について理解を深め、多様性を認め、尊重しようとする気持ちが高まった。</p> |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <p>2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを児童にとって貴重な機会ととらえ、新たなスポーツとの出会いや、オリンピック・パラリンピックに関わる人々および他国の人々とのつながりを通して体験的に学べるように配慮した。</p> <p>また、学校が起点となり、地域のホストタウンとしての気運を高められるよう、家庭・地域への情報発信の機会を設定した。</p> |
| <p>8主な課題等</p> | <p>○講師の確保については、学校単独では困難であり、今後も県・市の支援が必要である。</p> <p>○児童の関心・意欲が高まっていることから単年度ではなく、オリンピック開催年まで継続した取り組みとしたいが、予算の面で見通しが持てない状況にある。</p> |
| <p>9来年度以降 の実施予定</p> | <p>○「ホストタウン交流事業」の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ プルメン市内小学校との交流 ビデオレターメッセージの交換 学校ホームページでの情報発信 <p>※ 郡山市国際政策課の協力を得ながら交流をさらに深める。</p> <p>○児童がオリンピックとの交流を通して、スポーツの魅力や努力することの素晴らしさ触れ、運動の日常化を図る活動</p> <p>○児童が主体となった地域への広報活動</p> |